

「活動自粛をしっかりと守っている日産スタジアムボランティアの皆さん

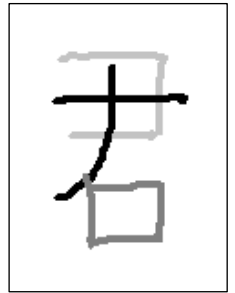
笑顔で楽しく活動できる日に備えて、英気を養い、体を鍛えて、ゆっくりと待ちましょう

♣ 5月11日付け朝日新聞朝刊でとても興味深い記事を読みました。

「しばらくは離れて暮らす コ と ロ と ナ 次に逢う日は 君 といふ字に 」

大阪の百貨店の宣伝担当のタナカサダユキさんの作品です。

さすがに宣伝担当の方のとても面白い作品がフェイスブックに短歌投稿されたということです。



スタジアムボランティアの皆さん、永らくご無沙汰いたしております。本当に「スタジアムで君に逢いたい」と思うほどのコロナ禍の自粛が、思いもしない長い期間となってしまいました。」リーグ開幕の2月は19日の ACLvsシドニーと23日のvsG 大阪の2試合のみでその後中断し活動が途絶えてしまいました。

♣ この2試合の活動では参加したボランティアの皆さんに、マスク配布と次のようなお願いを敢えて強調をこめてホワイトボードに表示しました。「活動より301室に戻る際は下記の条例を必ず実行してください。『完全な手洗いの実行、消毒剤・トイレの洗剤で十分に洗って自席に戻り休憩・食事をとること』をお願いいたします」この2月の時点では世間は未だ今のように手洗い実行がそれほど言われていませんでした。このお願いに対してボランティアさんから「条例とは何事か、条例は行政が出すものだ」と強いお叱りを受けました。その後、3ヶ月経った今、世界中の誰もが手洗いを実行しています。

♣ 同じ朝日朝刊にはこんな記事も載っていました。国際プロサッカー選手会の発表によると、外出制限など厳しい制限をくだされた男女プロ選手の中に、うつ病、不安障害に似た症状の出た選手が男子16%女子22%もいたということです。症状を訴えた選手の約6割が将来への不安を抱えていたということです。

私たちが4月7日の緊急事態宣言の発令からその後延期へと続き、いつ解除かも分からない中で、自粛疲れで誰もが不安障害に似た症状を起こしかねない状況にあります。でも、こんな時期だからこそ私たちスタジアムボランティアはいつもテーマとして掲げている「笑顔のスタジアム」の精神をもって笑顔で楽しく活動できるその日まで、十分に英気を養い体力を鍛えて慌てずゆっくりと忍耐強く待ちましょう。そして、時にはお手元にあるこれまでの活動記録を引っ張り出して「4F 東の E11 の配置場所は？西7F の W26 は閉鎖？」など記憶を思い出させて、テレワーク同様の自宅活動をなさって気分をほぐしてください。

小倉名誉場長もスタジアム HP で「Jリーグの再開を、F・マリノスファンや私共も望んでいます、ホーム&アウェー方式で運営している以上、チーム移動の電車や宿泊ホテルを考えますと、まだまだ難しい状況にあります。」リーグが、真剣に対策を検討しておりますので、お待ち願いたいと思います。5月末まで、コロナウイルス消滅を求めて、密閉・密集・密接の3つの密の場所には行かず、外出自粛をして「STAY HOME！」を続けましょう！とおっしゃられています。

私自身も自粛生活の中で、今後再開する活動のあれこれを考えて準備に励んでおります。オリンピックで実施できないかと思っていた恒例の「案山子作り」がオリンピック延期で開催できそうなので、かねがね構想していた「リアル案山子」のボディ造りに取り掛かり 子供5体と子犬3匹 が誕生しました、十分に時間をかけてじっくりと作成し自己満足しています。お正月恒例の「凧揚げ」も昨今のストロー問題でストローとビニール素材から脱却して、紙と竹ひごの天然素材でまず試作品を数点作成しました。スタジアム再開したら皆さんで凧揚げテストをいたしたいと思います。



ボランティア事務局 安田 十四雄

スタジアム情報はホームページをご覧ください。 <https://www.nissan-stadium.jp/>

ぜひ新横浜公園メールマガジンをご登録ください。 <https://fofa.jp/stadium/a.p/108>